



うまさうな雪がふうはりふうはりと 小林一茶

(空の上から、うまそうなぼたん雪が、ふうわりふうわりと降ってくるのだ)

朝、起床すると寒く感じる日が多くなり、初雪ももうすぐ見られそうな時期になりました。徐々に冬将軍が近づいてきていることを感じます。そのような寒い日でも、子どもたちは、半袖、半パン・スカートで学校に通っています。私たち大人も子どもたちに負けないよう元気に胸を張って歩きたいものですね。

あいさつについて考えてみましょう

第5号で、「しつけ3原則」の一つとしてあいさつのできる子どもに育てましようとお願ひしました。

私の出勤や退勤途中に、朝「おはようございます」。夕には、「さようなら」と元気よくあいさつをしてくれる小学生がいます。その声を聞くととても気持ちよくなります。朝に聞くと「今日一日、がんばるぞー」という気持ちになり、夕に聞くと一日の疲れが吹き飛びます。あいさつには不思議な力があることを感じます。あいさつは魔法の言葉のようです。



皆さんのご家庭では、親子や兄弟・姉妹同士であいさつを交わされていますか。また地域や職場であいさつを交わされているのでしょうか。あいさつには、「おはよう」「おやすみなさい」「こんにちは」「さようなら」・・・等、いろいろな言葉がけがあります。あいさつはこのような言葉のキャッチボールです。まさに心と心のキャッチボールとも言えるでしょう。あいさつにより、心が通じ合い、そして人間関係が円滑になることで仕事もスムーズにいくようになること間違いなしです。家庭や職場で実践しましょう。

また、あいさつができる人は人に愛され、人から大切にされるようになります。あいさつができる子どもに育てるということは親として大切なしつけの一つでしょう。親が気持ちのいいあいさつをしていれば子どももあいさつができるようになります。親が率先してあいさつをする姿を見せるようにしましょう。

良いあいさつとはどのようなあいさつでしょうか。私は次のようなあいさつだと思います。それは、

- (1) 自分から先に
- (2) 相手の目を見て
- (3) 大きな声で
- (4) 笑顔で

いかがでしょうか。このようなあいさつができれば百点満点。あいさつをする方も受ける方も気持ちよくなること請合いです。でも、このようなあいさつは難しいと思われる人は、まずは声かけです。勇気を出して声をかけるようにしましょう。

ぜひ、ご家庭で、地域で、職場で実践しましょう。きっとみなさんのまわりの雰囲気が変わることでしょう。

「あいさつで、家庭が変わり、職場が変わり、地域が変わり、そして社会が変わる」

問合せ先：防府市教育委員会生涯学習課 青少年育成センター（23-3013）